

# 第35回

# うつのみやこども賞だより

平成30年度 8回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

## 『ビター・ステップ』

高田由紀子／著 (ポプラ社)

### ～読んだ本の感想よ～



- 私はあかりのうな体験をしたことがないけれど、あかりの心の変化や気持ちがよくわかって、共感しているような気持ちになれる本でした。
- おばあちゃんとあかりが、だんだん仲良く、前のように話せるようになっていくのを見て、とても心があたたかくなりました。
- 私のおばあちゃんは病気のない健康なおばあちゃんだから大変さとかはあまりわからなかったけど、あかりの、おばあちゃんを元気にしたいという気持ちは伝わってきた。
- 少し苦い話だったが、主人公と家族との関係が気になりすらすら読めた。
- 喜怒哀楽の激しいお年寄りのお世話をする介護福祉士もカッコイイなと思います。みんなが成長する姿は読んでいて感動しました。

### 『ウシクルナ!』

陣崎草紙／著 (光村図書出版)

- めちゃくちゃなメンバー+ウシというコンビで最初はどうかと思ったけれど、うまくいってよかったと読んだあとに思った。
- 前世が平家というのが面白かった。また、最後にお母さんがまた出て行ってしまうのがおもしろかった。
- ウシがくるという、今までに読んだことのないストーリーで、おもしろかった。
- デビュー曲「海から富士山・モオ・ドッキン★」を私も聞いてみたくなった。何か、まんざいを見ている感じ。
- 四郎が最初にウシと出会いびっくりするシーンがおもしろかった。

### 『大坂オナラ草紙』

谷口雅美／著 (講談社)

- 初めは江戸時代でも学校でも逃げたりすることが多い平太でしたが成長したところが良かったです。
- この本は1つの本なのに、江戸時代と新聞係、2つの話が楽しめてあきない本でした。
- おもしろいけどな…って感じの本。平均点は越えているが、飛び抜けてイイナーって部分が無い、そこがちょっと惜しい。
- 今、やれる事を一生懸命やってたら自然と未来に続いていくということが知れたところが良かった。

### 『もう逃げない!』

朝比奈蓉子／著 (PHP 研究所)

- 修一をからかう佐伯と吉田には正直イラッとしたし、お父さんも気が弱い修一を見て冷たい態度をとるけれど、それは自分の小さいころに似ているからと聞いて、ほっとしました。
- お父さんに素直に話せたりして、だんだん強くなって行って、最後には、よかったなあと思えた。
- なんでも話せる友達がいることは大切だな、と思いました。
- ストレス性の腹痛がある修一が、犬のマックとあって、どんどん、気持ちが上むきになって、最後にお父さんと分かりあえてよかった。
- 朝学校に行く前におなかがいたくなってしまい、イジメがおきてしまったけれどリクやマックと仲よくなってよかったと思いました。

平成31年1月13日